

「読書と映画鑑賞です。」

松山 正男

三月になると中学校教員だったという性なのか、卒業と高校受験が気になってくる。自分の高校受験を思い出すと、約四五年以上前、面接で「趣味は何ですか」と訊かれた。「映画鑑賞と読書です」と答え、続けて「どんな映画と本が印象に残っていますか」には、「映画はMニコルズ監督の『卒業』、本はその原作であるCウェッブの『卒業』。印象にあるのは・・・」という遣り取りをした記憶がある。

さて、弘前の街から「随分減ったなあ」と感じるのには映画館とまちの本屋である。映画館は中・高生だった頃、駅前、元寺町、百石町、鍛冶町、本町、桶屋町、南横町にあった。映画の広告が夕刊を賑わしていたこともある。もっと遡ると土手町、銀座街、茂森町、大町、和徳、賀田、東目屋、三和、高杉、石川にもあったと聞く。中・高生当時は

二〜三本立てが普通だったので年間八〇本以上観た年もあり、小遣いの殆どを映画代、本代に費やしていた。よく立ち読みをしていた茂森町や本町の本屋、土手町の大型書店も二店閉じ、さらに、今春四月いっぱいまで今ある大型書店も閉じるという。本当に寂しい限りである。

映画館と本屋は減ったが、相変わらず趣味は「読書・映画鑑賞」である。金銭的・距離的な関係で、映画館で観る機会は少なくともなり、レンタルビデオや録画で楽しんでいるが、どちらかというと読書の時間が多くなってきた。

かつて大手出版社が「読んでから見るか、見てから読むか」というキャッチコピーを掲げた。自分の読書の仕方としては、この二つが多い。これを何と云うのか調べたことがある。しかし、見つけることができなかった。自分では密かに「鑑読」と名付けている。

読書の仕方・態様には黙読、速読、唇読、熟読、摘読、濫読、多読、斜め読み、抜き読み、共読、再読、精読、愛読、閲読、一読、快読、会読、回読、査読、素読、耽読、深読、通読、聴読など、得意の積ん読、立ち読みも含めると様々である。

自分の読書傾向として、ジャンルに捉われず関連した本を読むことが多い。例えば、昨秋、京都で金閣を観、タイミングよくNHK「アナザーストーリーズ 運命の分岐点・金閣炎上、若き僧はなぜ火をつけたのか」を見たことをきっかけに、『金閣寺』（三島由紀夫著）を再読した。併せて『金閣寺の燃やし方』（酒井順子著）『金閣を焼かなければなら

ぬ』（内海健著）を一読し、現在は『金閣炎上』（水上勉著）を探索中である。このような読み方を密かに「連読」と名付けている。

教職を退き、読書時間も増えたので、同時期に内容があまり関連しないと思われる本を、気分転換のために二冊交互に読むこともある。例えば『燃えよ剣』（司馬遼太郎著）と『マネジメント』（P・Fドラッカー著）など。これを密かに「双読」と名付けている。この二冊も再読であるが、組織目的・リーダー・経営という視点で読み比べると面白い。再読・連読・双読により新たな理解と視点が得られ、より豊かな見方・考え方に気付くことができた。これが最近の読書からの収穫である。

中学卒業時に「人間様々、人生様々」という言葉を、担任の先生が卒業アルバムに贈ってくれた。これからも様々な本を、様々な読み方をする中で、様々な見方・考え方に気付き、感じる時間を過ごせたらよい、と思っている今日この頃である。薬の中毒は御法度だが、本の「中毒（読）」はお奨めである、と今春卒業する子どもたちに伝えた

い。

（元弘前市立石川中学校・第一中学校 校長）



石川の映画館・旭館。建物は石川春仕内に現存。（撮影：筆者）



● イベント実施報告 11月～1月 ●

〔弘前図書館〕11月23日

小学生に贈るおはなし 内容が盛りだくさんのおはなし



パネルシアターでの読み聞かせ

今回で6回目となる「小学生に贈るおはなし」が行われ、小学生やその保護者など22名の方が参加してくださいました。11名のボランティアの皆さんにご協力いただき、絵本の読み聞かせのほか、津軽の昔っこ、紙芝居、ストーリーテリングやパネルシアターなど、内容が盛りだくさんのおはなし会を開催することができました。

〔弘前図書館〕12月16日 クリスマスおはなし会

サンタさん早く来ないかな☆

天候にも恵まれ、今年も無事にクリスマスおはなし会を開催することができました。当日は

19名のお客様にお越しいただき、終始和やかな雰囲気でした。プログラムは、『サンタのいちねん トナカイのいちねん (絵本)』、『ぐりとぐらのおきゃくさま (大型絵本)』、『サンタさんがおみやげもってきた (手遊び)』、『サンタさんにあいたい (パネルシアター)』、『いぬのともだち (出逢い人形)』の5つの演目を行いました。パネルシアターや人形を使った演目では、よみかせボランティア「おはなしるんるん」の皆さんの問いかけに元気に答える様子も見られ、参加したご家族にとって素敵な時間になったのではないのでしょうか。



クリスマスおはなし会の様子

最後は皆で『あわてんぼうのサンタクロース』の歌を歌い、楽しく会を終えました。

〔岩木図書館〕12月9日 おはなしクリスマス会 サンタさんみつけ!?

12月9日(土)に、中央公民館岩木館の大和室で、よみかせボランティア「テラーズ」の皆さんによるおはなしクリスマス会を開催しました。クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせやペープサート、愉快的歌などバラエティーに富んだ内容で、ご参加いただいた皆様も始終楽



しんでいるようでした。パネルシアターの『サンタさんにあいたい』では、子どもたちも一緒に隠れサンタさんを探して大いに盛り上がりました。「サンタさんみつけ!!」と思って指をさしてもサンタさんにそっくりな犬だったり、ゴルフバックだったり…？最後は全員で『あわてんぼうのサンタクロース』を音楽に合わせて歌いました。今年は8組18名の方がご参加くださり、大変楽しく賑やかなクリスマス会になりました。



おはなしクリスマス会の様子

〔岩木図書館〕1月27日 ぬいぐるみのおとまり会 in 岩木図書館 図書館のお仕事頑張ったよ!

今年で6年目の開催となったぬいぐるみのおとまり会。5名の子どもたちが参加してくれました。まずは、お気に入りのぬいぐるみを抱っこしながらおはなし会に参加し、「ぬいぐるみ」が出てくるおはなしなどを楽しみました。子どもたちも一緒に本を読んだり、声を出したりして笑顔で溢れていました。おはなし会の後は、ぬいぐるみをお昼寝させてお別れです。お昼寝から目を覚ましたぬいぐるみたちは、図書館のお仕事を手伝ってくれました。本の貸出や返却





子どもたちが持ち上げられるとぴよーん

紹介してもらいました。図書館ではあかちゃんえほんコーナーを設けて、低年齢のお子さんから楽しめる絵本を用意しています。ぜひご家庭で、お子さん・お孫さんと絵本を用いて、楽しい時間を過ごしてみませんか？

講師に「P.I.C.読書アドバイザーの高嶋敬子さんをお迎えして毎年開催している「パパとじいじとえほんあそび」。今年も2組5名の親子が参加してくれました。最初は眠っていた子どもたちでしたが、目が覚めるとニコニコ顔になりました。また、パパと一緒に読んでおはなしや、絵本『ぴよーん』を読みながら、パパたちのダイナミックな高い高いを楽しんでいました。高嶋さんからは、タオルなど自宅にある身近なものを使った遊びにつながることや、いろいろな絵本を

〈子ども絵本の森〉12月10日 パパとじいじとえほんあそび パパ！高い高いして〜！

その様子を記念アルバムにしてプレゼントしました。はもちろん、書庫を探検したり新聞を読んだり：朝ごはんもたくさん食べて子どもたちのお迎えを今か今かと楽しみに待っています。後日、ぬいぐるみをお迎えに来た子どもたちには



みたくるぬいぐるみを食べるごはん

〈子ども絵本の森〉12月22日〜1月17日 冬休みおはなしクイズラリー 楽しいお正月を過ごしましたか？

今年のテーマは「お正月を楽しもう♪」。閲覧室にはお正月に関連したものを散りばめました。今回クイズが書かれていたのはお地蔵さま。6体のうち1体は、はずれ。はずれのお地蔵さまに最初に出会ってしまった子、顔はめのお地蔵さまのクイズに気が付かなかった子など、クイズを探することも絵本を讀んで問題に挑戦することも楽しんでくれました。期間中は合計60名の方が参加してくれました。ご参加ありがとうございました。



子どもたちが楽しむクイズラリー

〈相馬ライブラリー〉11月23日〜11月28日 犯人を捜せ！ ライブラリーで謎解きゲーム

相馬地区文化祭特別企画として、相馬ライブラリーから「本を持ち出した犯人」を突き止めてもらう謎解きゲームを開催しました。ライブラリー内に隠された謎を5問解き、その答えを組み合わせると犯人がわかるという内容で、途中の謎解きでつまずき四苦八苦した参加者もい

たようですが、スタッフからのヒントもあり、ほとんどの方が犯人までたどり着くことができました。子どもからは「おもしろい、もっとやりたい」、大人からは「難しい」との感想が寄せられ、皆さんに楽しんでもらえたと思います。文化祭中のイベントだったため、普段図書館にはあまり来ない利用者も多数参加し、大盛況に終わりました。



謎解きゲームの参加者たち

〈相馬ライブラリー〉12月14日〜1月23日 運だめし！相馬ライブラリーおみくじ あなたの運勢は？ライブラリーでおみくじを

冬休みの特別企画として、「相馬ライブラリーおみくじ」を開催しました。来館者どなたでもおみくじを引けるというイベントで、子どもから大人まで参加していただきました。おみくじには運勢のほかにも、幸運の書としておみくじの内容にちなんだ本のタイトルも書かれており、参加者からは「やった！大吉!!」「残念、凶だった」「せっかくなので幸運の書を借りていきませう」などの声がありました。また、引いたおみくじは持ち帰ってもよいのですが、おみくじ結び所」に結び参加者も多く、「この季節にピッタリのイベントだね」と喜んでもらえたようです。



様子結び所のおみくじ



インターネットサービス ①

弘前市立図書館にはインターネットで本の検索や予約ができるシステムがあります。本コーナーでは複数回に分けて使い方を紹介します。第一回はログイン方法とパスワード・メールアドレスの変更方法です。

システムにアクセスする



まず、左のQRコードを読み込むか、Web検索でアドレスを入力しましょう。

<http://www.hi-it.jp/opac/>

ここからメニュー
を選べます。



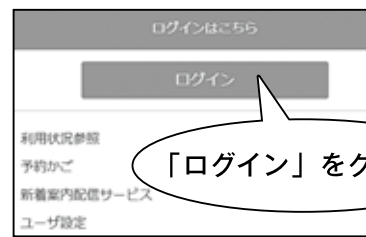
ここで利用館を選択すると、休館日を確認
できます。

ログインする

初めてログインする時には仮パスワードが必要です。各図書館の窓口で仮パスワードを発行していますのでお問い合わせください。



「ログインはこちら」
をクリック



「ログイン」をクリック



利用者番号
(ハイフン不要)



パスワード

利用者番号・パスワード
を入力して「ログイン」
をクリック

仮
パ
ス
ワ
ー
ド

ご利用ありがとうございます。
インターネット予約等で必要なパスワードを
通知いたします。
当図書館のホームページよりパスワード変更
してご利用頂くことを推奨します。

パスワード
Ab1Cdef2
弘前市立図書館

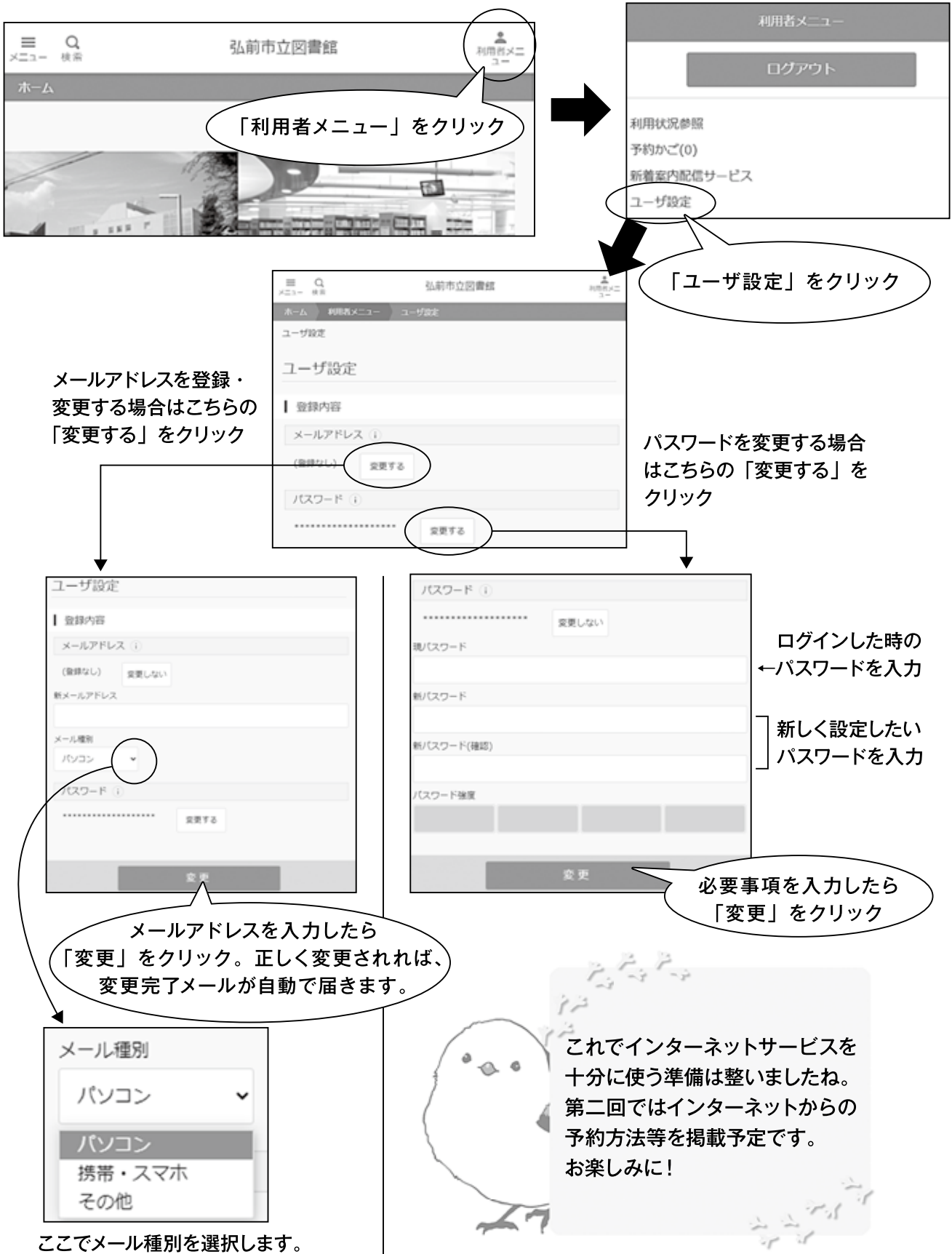


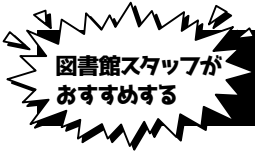
「ログインはこちら」から
「利用者メニュー」に変わっ
たらログイン成功です。



パスワードの変更、メールアドレスの登録・変更

パスワードの変更、メールアドレスの登録・変更はログイン後にできます。メールアドレスを登録しておくことで、予約した本が貸出可能になった時にメールで連絡を受けることができますようになります。





BOOK REVIEW この本がおもしろい!

『どっち?』

キボリノコンノ/作
講談社
2023年刊



表紙にはこんがり焼けたバゲットがあります。「おいしそうだな」と目線を下に移すと片方はなんと「木!」。この絵本に出てくるものは、木で出来たものが混じっているんです。カステラやカマンベールチーズなど柔らかそうなもの・ちりめんじゃこやコーヒー豆のように固そうなもの。よく見るとわかるものもありますが、質感が本物らしくて、よく見てもわからないものも。ぜひ自分の目で確かめてみてくださいね。

『おとな六法』

岡野武志、アトム法律事務所/著
クロスメディア・パブリッシング
インプレス (発売)
2023年刊



YouTubeで人気の岡野タケシ弁護士が、読者から寄せられた質問に答えながら法律を楽しく・詳しく解説してくれる本書。刑務所や前科・前歴といった専門知識に関する質問や、某キック力が著しく上がるシューズは法律的に大丈夫なのか?といった変わった質問等を通して、飽きることなく法律について知ることができます。日常のあんなことが実は罪に問われるかも?難しいと感じる法律を少しでも身近に感じることが出来るはずです。

『古典がおいしい! 平安時代のスイーツ』

前川佳代、穴戸香美/著
かもがわ出版
2021年刊



平安時代の貴族達はどんなお菓子を楽しんでいたのでしょいか。この本では、平安時代の古典に出てくる十種類のスイーツのレシピを紹介しています。今あるもので作れるようにアレンジされていて、実際に作って味わうこともできますよ。また、お菓子が出てくる古典の話や書いた人物、時代背景の説明もあります。写真やイラスト付きなのでわかりやすく、見ているだけでも充分楽しめます。平安時代を身近に感じられる一冊です。

『ギリシャ神話の教科書 神々を知ればもっと面白い!』

東ゆみこ/監修
ナツメ社
2023年刊



ギリシャ神話は、星座や西洋美術などに大きく影響を与え、私たちの生活の中にも深く浸透しています。しかし、「ギリシャ神話の神々の名前は聞いたことがあるが内容はよく知らない」という方も多いのではないのでしょうか。この本では、神々の性格や時系列に沿った物語の流れを、軽いタッチのイラストと文章で解説しています。人間臭くてキャラ立ちした神々に親近感が湧き、難しいイメージのギリシャ神話が易しく理解できます。

『北海道犬旅サバイバル』

服部文祥/著
みずす書房
2023年刊



サバイバル登山家の著者が50歳を前に「ほんとうにやりたいこと」をした旅の記録です。狩猟犬ナツを連れて、宗谷岬から襟裳岬まで北海道南北分水嶺700キロを50日かけて歩き通したドキュメンタリーです。お金は持たず、米と調味料のみを持ち、鹿などの野生動物の狩りをして進みます。自然の厳しさも想定外の困難も、愛犬との信頼関係で乗り越えていきます。「生きる」という事について深く考えさせられる一冊です。

『小説家の一日』

井上荒野/著
文藝春秋
2022年刊



メール、メモ、小説、日記、レシピ、トイレの落書き…「書くこと」をテーマにした短篇十作になります。一つ目のお話からどこか不穏な雰囲気が始まり、あつという間に引き込まれてしまいます。短篇作品なので、どんどん読み進めることが出来ますが、どのお話も最後は読み手の想像にお任せするような結末になっており、どこか心に引っかかる内容が癖になります。その後の結末を想像するのが好きな方に読んでいただきたい一冊です。



利用者の皆さまへ

令和6年4月1日より 貸出延長サービスが変わります。

令和6年3月31日まで

延長手続きをすると返却予定日から2週間延長。

延長手続きは返却予定日の3日前から可能。1回のみ。



令和6年4月1日から

延長手続きをした日から2週間延長。

延長手続きは貸出翌日から返却予定日まで可能。1回のみ。

例：4月1日に借りて4月15日返却予定日の本。(予約が入っていない場合)

① 4月2日に延長手続きをする

…4月16日までに延長(4月2日から2週間延長)

② 4月15日に延長手続きをする

…4月29日までに延長(4月15日から2週間延長)

借りた翌日から延長手続きはできますが、手続きをした日から2週間延長されるため、①のように少ししか返却予定日が延びません。②のように、返却予定日が近付いて読み切れないようだったら延長手続きをしましょう!

※以下の資料は延長できませんのでご注意ください。

- ・返却予定日を過ぎた資料
- ・予約が入っている資料
- ・雑誌・視聴覚資料



お知らせ・図書館イベント等の情報 3月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 3月16日(土) 13時~16時	弘前ライブラリーシネマ	【上映作品】『そして父になる』 【定員】40名(先着順) ※定員に達したため受付終了しました。


岩木図書館・こども絵本の森 蔵書点検に伴う臨時休館のお知らせ

蔵書の点検作業のため、下記の日程で休館させていただきます。


- ・こども絵本の森 3月5日(火) ~ 3月7日(木)
- ・岩木図書館 3月11日(月) ~ 3月18日(月)

※休館中も返却ポストはご利用可能です。

※弘前図書館、相馬ライブラリーは期間中も通常通り開館しております。



図書館ボランティア紹介
閲覧室ボランティア
坂本 妙子さん



―ボランティア活動内容について―

- ① 返却本を、背ラベルの記号に従って書架へ。
- ② 書架の整理。
- ③ 利用者さんをお捜しの本の配架場所へご案内。
- ④ 利用者さんの質問内容によっては、カウンターへご案内も。

―弘前市立図書館でボランティアとしての活動経験は―

閲覧室ボランティアは月2回で7年目になります。希望者さんへの対面朗読は、S58、H27年頃まで行っていました。

―活動のおもしろさや楽しさ、やりがい―

- ① 幼い方が両手いっぱい本を抱えている姿を見ると嬉しくなり、同行の方にもお礼申しあげたい程です。
- ② 返却本を配架しながら読みたい本に出会えることが度々あります。
- ③ 本に囲まれ、小さい頃から好きだった図書館にいられる。それが私には楽しいのです。

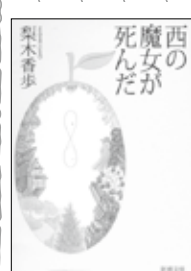
―おすすめの本を1冊教えてください―

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩著 新潮社刊 2001年
(単行本・小学館からも出版されています。)

西の魔女に森に住む祖母と自然により、生きる力を回復してゆく少女まい。森の美しさ、自然に沿った祖母の暮らしに心打たれ、繰り返し読んだ本。(映画化され当館でも上映)

―読者の方へメッセージ―

多種多様な本・資料等が、図書館で皆様を待っています。小さい方も大きい方も、お気に入りの本等々を見つけないでください。



弘前図書館

開館時間
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:00
休館日…毎月第3木曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館

開館時間
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:00
休館日…毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

こども絵本の森

開館時間
10:00 ~ 18:00
休館日…毎月第3木曜日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー

開館時間
9:30 ~ 17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェブ・弘前ペンクラブ共同事業体

